

横須賀水交會会員 各位

横須賀水交會 会長 加藤 保

「横須賀水交會ファミリーサポートセンター」への協力について！

横須賀水交會ファミリーサポートセンターは、2015年6月5日に横須賀地方総監部と「家族支援に関する覚書」が手交により開設され早3年が経過しております。この間、当サポートセンターが発動される不測の事態は起きず、我々会員も安堵しているところであります。

当サポートセンターが実際に発動されるのは、数十年あるいは数百年に一度有るか無いかとも言われてはいるものですが、熊本大震災やゲリラ豪雨など自然災害はいつ我々の身近に起きるか誰も知りえません。特に横須賀地区は首都直下型地震や南海トラフ大地震の震源地が近く、一旦この災害が発生した場合、東日本大震災や熊本大震災を超える甚大な被害が想定されています。

横須賀水交會は、海上自衛隊の支援を重要な目的の一つとしており、日々支援施策を模索しているところであります。隊員の留守家族支援を目的とする当該ファミリーサポート事業は、支援施策の中核に位置づけられる施策であり、任務に邁進する隊員の心の支えとして我々OBが直接支援できる事業であると確信しております。

ファミリーサポートセンターは、総監部と連携しつつ体制の充実を図るべく幾度となく意見交換を行い、交流会(3回)緊急登庁支援訓練(2回)保育担当者養成講習(2回)に参加し、支援体制の確立に努めてまいりました。お陰様で各部隊関係者及び隊員から期待と信頼を少しずつですが得られていると聞き及んでおります。

緊急登庁においては、部隊にいち早く復帰し、国民の生命と安全を守る活動をするため隊員自身の強い意志と併せて家族の理解と協力が必要です。幼い子供に理解を求めるのはあまりに酷であり、隊員にかわって幼子の面倒を見てくれるこの制度があることにより、当該隊員が多少なりとも安心して、勤務に邁進できる環境が整えられるものと考えております。

現在、支援提供会員として登録している会員数は約27名と少なく、開設当初の30名から更に減少しており十分な対応ができる支援提供会員が確保されていません。会員各位には隊員留守家族支援の趣旨に賛同を頂き、ファミリーサポート会員への登録を切にお願い申し上げます。入会直後から支援して頂くことはありません。入会后1年ほどは前に述べました交流会やその他のイベントに参加を頂き、ファミリーサポート会員の活動等体験頂き、その後に皆様にできる範囲内で具体的な支援について考え頂ければと思います。隊員とその家族との交流には楽しいものがあります。振るっての参加をお願いします。

最後に、本横須賀水交會のファミリーサポートセンター施策を契機として、この種の家族支援が全国各地に普及しております。これは、この施策の重要性が多くの方に認められ、我々水交會が目指す目に見える支援態勢が少しずつ現実化されてきている証左であります。

緊急登庁に際して、自衛隊員である母から引き離される子供の泣き声を背中に任務に向かう隊員に対する支援ほど海自OBである我々にとって素晴らしい支援だと思えます。

身の丈のなかで、隊員家族と交流してみませんか！ 振るっての参加を！